

# 中央市の給与・定員管理等について

## 1 総括

令和7年度版

### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

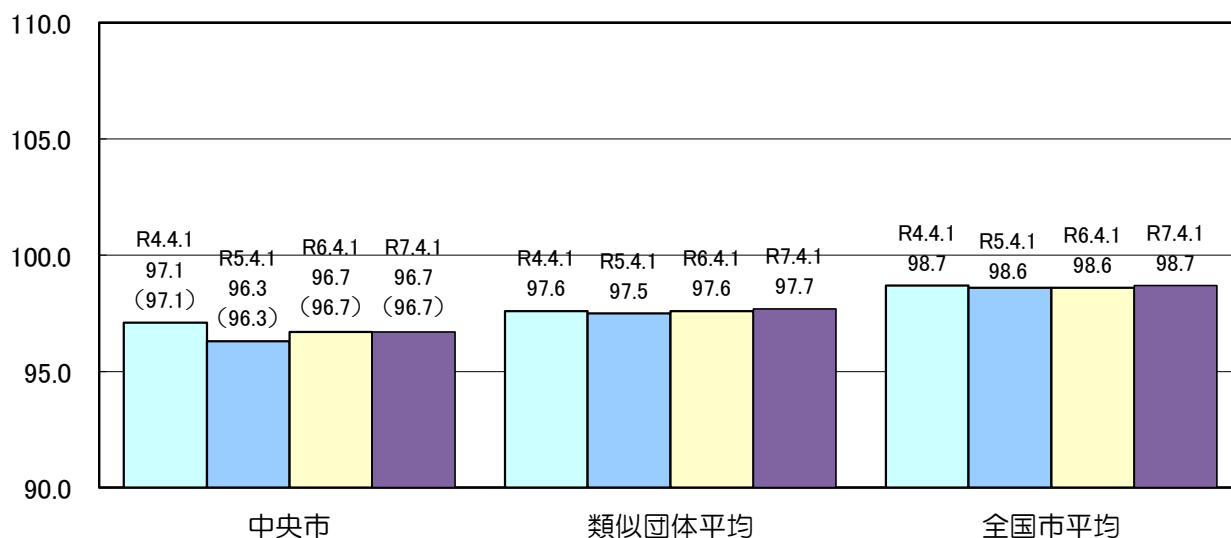
| 区分    | 住民基本台帳人口<br>(令和7年1月1日) | 歳出額<br>(A)    | 実質収支         | 人件費<br>(B)   | 人件費率<br>(B/A) | (参考)<br>令和5年度の人件費率 |
|-------|------------------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------------|
| 令和6年度 | 30,597 人               | 15,739,554 千円 | 1,507,862 千円 | 2,454,221 千円 | 15.59 %       | 15.02 %            |

### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

| 区分    | 職員数<br>(A) | 給与         |            |            |              | (参考) 一人当たり<br>給与費 (B/A) | (参考) 類似団体平均<br>一人当たり給与費 |
|-------|------------|------------|------------|------------|--------------|-------------------------|-------------------------|
|       |            | 給料         | 職員手当       | 期末・勤勉手当    | 計 (B)        |                         |                         |
| 令和6年度 | 213 人      | 784,997 千円 | 116,606 千円 | 316,287 千円 | 1,217,890 千円 | 5,718 千円                | 6,004 千円                |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
 2 職員数については、令和6年4月1日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）、定年前再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含まない。  
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

### (3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。  
 2 括弧書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給割合を用いて補正したラスパイレス指数。  
 (補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給割合) / (1+国の指定基準に基づく地域手当支給割合) により算出。)  
 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。  
 4 ラスパイレス指数（地域手当補正後ラスパイレス指数を含む。）の算出に当たっては、60歳に達した日後の最初の4月1日以後に支給される給料月額について、本来の給料月額の7割水準に設定される職員を除いている。

※ 令和7年4月1日のラスパイレス指数が、①3年連続で上昇している場合、②100を超えている場合について、その理由（給与制度又はその運用を踏まえ記載すること）

該当なし

#### (4) 給与改定の状況

##### ①月例給

中央市は、人事委員会未設置のため記載なし。

| 区分    | 人事委員会の勧告  |            |           |             | 給与改定率 | (参考)<br>国の改定率 |
|-------|-----------|------------|-----------|-------------|-------|---------------|
|       | 民間給与<br>A | 公務員給与<br>B | 較差<br>A-B | 勧告<br>(改定率) |       |               |
| 令和 年度 | 円         | 円          | 円<br>( %) | %           | %     | 3.62 %        |

(注)「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

##### ②特別給(期末・勤勉手当)

中央市は、人事委員会未設置のため記載なし。

| 区分    | 人事委員会の勧告     |               |           |              | 年間支給月数 | (参考)<br>国の年間<br>支給月数 |
|-------|--------------|---------------|-----------|--------------|--------|----------------------|
|       | 民間の支給割合<br>A | 公務員の支給月数<br>B | 較差<br>A-B | 勧告<br>(改定月数) |        |                      |
| 令和 年度 | 月            | 月             | 月         | 月            | 月      | 4.65 月               |

(注)「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

#### (5) 社会と公務の変化に応じた給与制度の整備(給与制度のアップデート)の実施状況について

【概要】国家公務員給与においては、行政職俸給表(一)において3級から7級までの初号近辺の号俸をカットし、これらの級の初号の俸給月額の上上げを行うとともに、8級から10級の隣接する級間での俸給月額の重なるの解消等を行っている。その他、各種手当について見直しを行っている。

##### ①給料表の見直し

[  実施  未実施 ]

実施内容(実施(実施予定)時期、具体的な実施内容(未実施の場合には、その理由))

(給料表の改定実施時期)：令和7年4月1日

(内容)：一般行政職の給料表について、国、県の見直し内容を踏まえ、3級から7級までの初号近辺の号給をカットし、これらの級の初号の給料月額の上上げを実施。(国の8級以上に相当する級がないため、隣接する級間での給料月額の上重なるの解消は実施していない。)

##### ②地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

(支給割合)：支給なし

(実施時期)：実施なし

##### ③その他の見直し内容

(その他の見直し実施時期)：令和7年4月1日

(内容)：扶養手当、通勤手当、単身赴任手当及び管理職員特別勤務手当について、国、県と同様に見直しを実施。

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(令和7年4月1日現在)

#### ①一般行政職

| 区分   | 平均年齢   | 平均給料月額    | 平均給与月額    | 平均給与月額<br>(国比較ベース) |
|------|--------|-----------|-----------|--------------------|
| 中央市  | 42.5 歳 | 325,100 円 | 378,584 円 | 349,436 円          |
| 山梨県  | 42.7 歳 | 336,855 円 | 413,986 円 | 371,295 円          |
| 国    | 41.9 歳 | 332,237 円 | 414,480 円 | - 円                |
| 類似団体 | 42.3 歳 | 325,941 円 | 386,178 円 | 355,674 円          |

②技能労務職

| 区 分     | 公 務 員  |         |           |            |                 | 民 間         |       |            | 参 考 |
|---------|--------|---------|-----------|------------|-----------------|-------------|-------|------------|-----|
|         | 平均年齢   | 職員数     | 平均給料月額    | 平均給与月額 (A) | 平均給与月額 (国比較ベース) | 対応する民間の類似職種 | 平均年齢  | 平均給与月額 (B) | A/B |
| 中央市     | 49.4 歳 | 1 人     | 円         | 円          | 円               | —           | —     | —          | —   |
| うち用務員   | — 歳    | — 人     | — 円       | — 円        | — 円             | —           | —     | —          | —   |
| うち学校給食員 | — 歳    | — 人     | — 円       | — 円        | — 円             | —           | —     | —          | —   |
| その他     | 49.4 歳 | 1 人     | 円         | 円          | 円               | その他         | 49.0歳 | 251,000円   | —   |
| 山梨県     | 56.2 歳 | 61 人    | 355,160 円 | 405,115 円  | 374,064 円       | —           | —     | —          | —   |
| 国       | 51.3 歳 | 1,703 人 | 294,567 円 | 337,907 円  | — 円             | —           | —     | —          | —   |
| 類似団体    | 51.7 歳 | 12 人    | 299,324 円 | 330,782 円  | 311,434 円       | —           | —     | —          | —   |

| 区 分 | 参 考             |             |     |
|-----|-----------------|-------------|-----|
|     | 年収ベース (試算値) の比較 |             |     |
|     | 公務員 (C)         | 民間 (D)      | C/D |
| 中央市 | —               | —           | —   |
| その他 | — 円             | 3,395,700 円 | —   |

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(令和4年~令和6年の3ヶ年平均)

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員 (C)」及び「民間 (D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

③教育職 (該当なし)

④看護・保健職

| 区 分  | 平均年齢   | 平均給料月額    | 平均給与月額    | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|------|--------|-----------|-----------|-----------------|
| 中央市  | 35.8 歳 | 302,400 円 | 311,064 円 | 309,082 円       |
| 山梨県  | 41.4 歳 | 364,292 円 | 427,918 円 | 387,904 円       |
| 国    | 48.2 歳 | 333,346 円 | 375,323 円 | — 円             |
| 類似団体 | 40.6 歳 | 313,797 円 | 377,802 円 | 328,816 円       |

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和7年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。また、「平均給与月額 (国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース (=時間外勤務手当等を除いたもの) で算出している。

(2) 職員の初任給の状況 (令和7年4月1日現在)

| 区 分    |       | 中央市       | 山梨県       | 国         |
|--------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職  | 大 学 卒 | 220,000 円 | 226,728 円 | 220,000 円 |
|        | 高 校 卒 | 188,000 円 | 195,472 円 | 188,000 円 |
| 技能労務職  | 高 校 卒 | 185,700 円 | 199,995 円 | — 円       |
|        | 中 学 卒 | 171,200 円 | 186,628 円 | — 円       |
| 看護・保健職 | 大 学 卒 | 257,100 円 | 259,792 円 | — 円       |
|        | 高 校 卒 | — 円       | — 円       | — 円       |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（令和7年4月1日現在）

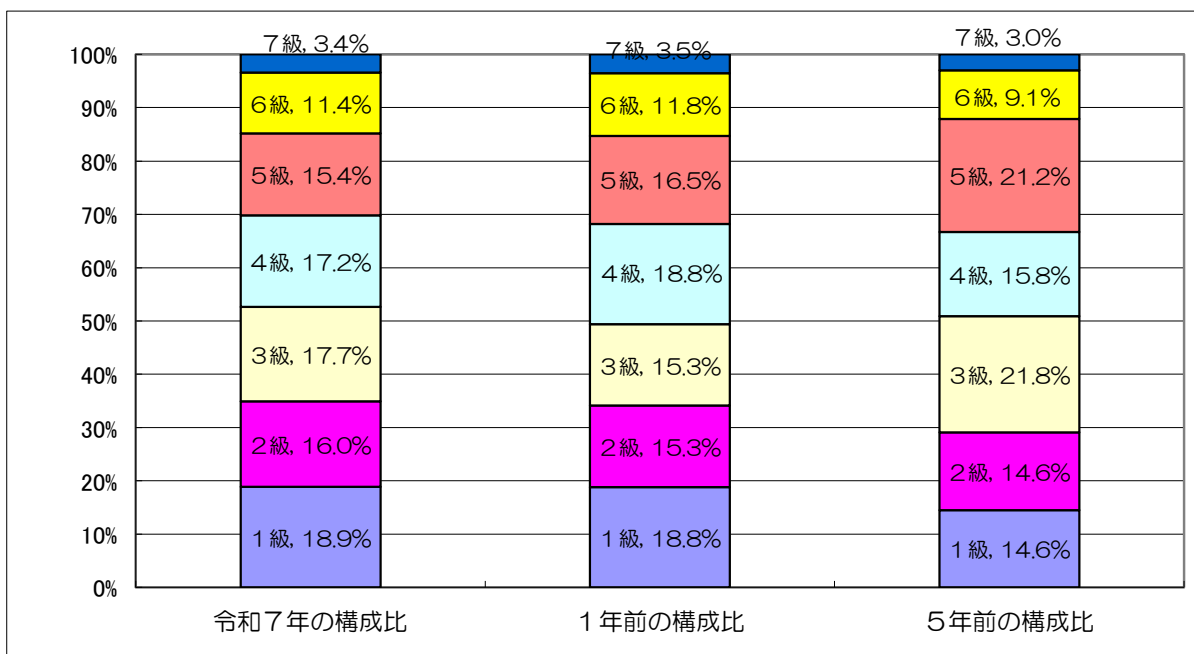
| 区 分    |     | 経験年数10年   | 経験年数20年   | 経験年数25年   | 経験年数30年   |
|--------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職  | 大学卒 | 276,800 円 | 359,100 円 | 386,400 円 | 401,600 円 |
|        | 短大卒 | 273,100 円 | 327,500 円 | 374,000 円 | 394,800 円 |
| 技能労務職  | 大学卒 | — 円       | — 円       | — 円       | — 円       |
|        | 高校卒 | — 円       | — 円       | — 円       | — 円       |
| 教育職    | 大学卒 | — 円       | — 円       | — 円       | — 円       |
|        | 高校卒 | — 円       | — 円       | — 円       | — 円       |
| 看護・保健職 | 大学卒 | — 円       | — 円       | — 円       | — 円       |
|        | 短大卒 | — 円       | — 円       | — 円       | — 円       |

3 一般行政職の級別職員数等の状況

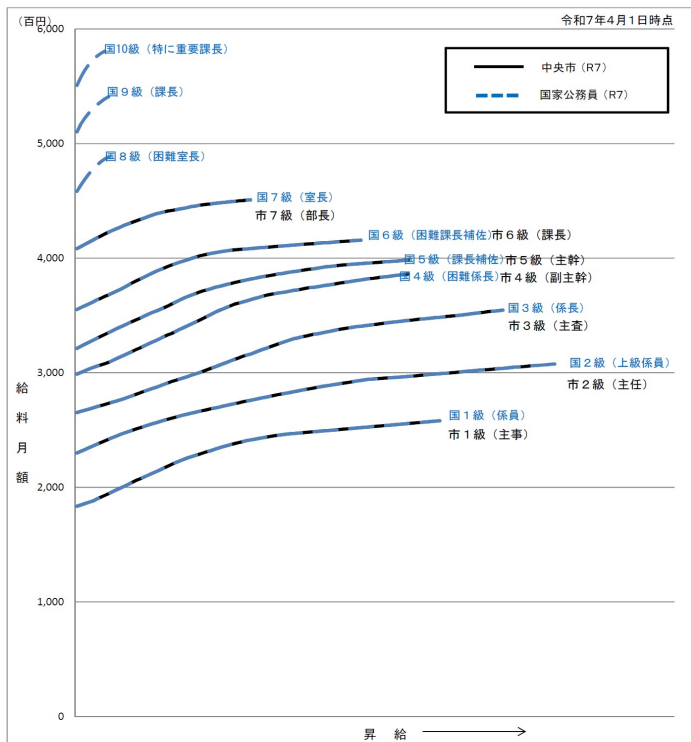
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和7年4月1日現在）

| 区 分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比   | 1号給の給料月額  | 最高号給の給料月額 |
|-----|----------|-----|-------|-----------|-----------|
| 7級  | 部長       | 6人  | 3.4%  | 408,300 円 | 450,900 円 |
| 6級  | 課長       | 20人 | 11.4% | 355,200 円 | 415,700 円 |
| 5級  | 主幹       | 27人 | 15.4% | 321,300 円 | 398,200 円 |
| 4級  | 副主幹      | 30人 | 17.2% | 298,800 円 | 386,100 円 |
| 3級  | 主査       | 31人 | 17.7% | 265,300 円 | 354,700 円 |
| 2級  | 主任       | 28人 | 16.0% | 230,000 円 | 306,000 円 |
| 1級  | 主事       | 33人 | 18.9% | 183,500 円 | 258,100 円 |

- (注) 1 中央市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和7年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（一般行政職）

（中央市）

| 令和7年度中における運用    | 管理職員    |           | 一般職員    |           |
|-----------------|---------|-----------|---------|-----------|
| イ. 人事評価を活用している  | ○       |           | ○       |           |
| 活用している昇給区分      | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 |
| 上位、標準、下位の区分     | ○       |           | ○       |           |
| 上位、標準の区分        |         |           |         |           |
| 標準、下位の区分        |         |           |         |           |
| 標準の区分のみ（一律）     |         | ○         |         | ○         |
| ロ. 人事評価を活用していない |         |           |         |           |
| 活用予定時期          |         |           |         |           |

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 中央市  | 山梨県  | 国   |
|--|--|---|
| 1人当たり平均支給額（令和6年度）<br>1,498 千円  | 1人当たり平均支給額（令和6年度）<br>1,695 千円  | —   |
| （令和6年度支給割合）<br>期末手当 2.50 月分<br>勤勉手当 2.10 月分<br>（ 1.40 ）月分 （ 1.00 ）月分 | （令和6年度支給割合）<br>期末手当 2.50 月分<br>勤勉手当 2.10 月分<br>（ 1.40 ）月分 （ 1.00 ）月分 | （令和6年度支給割合）<br>期末手当 2.50 月分<br>勤勉手当 2.10 月分<br>（ 1.40 ）月分 1.00 月分 |
| （加算措置の状況）<br>職制上の段階、職務の級等による加算措置<br>・役職加算 5～15%<br>・管理職加算 措置なし       | （加算措置の状況）<br>職制上の段階、職務の級等による加算措置<br>・役職加算 5～20%<br>・管理職加算 10～25%     | （加算措置の状況）<br>職制上の段階、職務の級等による加算措置<br>・役職加算 5～20%<br>・管理職加算 10～25%  |

（注）括弧内は、暫定再任用職員に係る支給割合である。

○勤労手当への人事評価の活用状況（一般行政職）

（中央市）

| 令和7年度中における運用    | 管理職員     |            | 一般職員     |            |
|-----------------|----------|------------|----------|------------|
| イ. 人事評価を活用している  | ○        |            | ○        |            |
| 活用している成績率       | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 |
| 上位、標準、下位の成績率    | ○        | ○          | ○        | ○          |
| 上位、標準の成績率       |          |            |          |            |
| 標準、下位の成績率       |          |            |          |            |
| 標準の成績率のみ（一律）    |          |            |          |            |
| ロ. 人事評価を活用していない |          |            |          |            |
| 活用予定時期          |          |            |          |            |

(2) 退職手当（令和7年4月1日現在）

| 中央市                      |               |                   | 国                                  |            |              |
|--------------------------|---------------|-------------------|------------------------------------|------------|--------------|
| （支給率）                    | 自己都合          | 応募認定・定年           | （支給率）                              | 自己都合       | 応募認定・定年      |
| 勤続20年                    | 19.6695 月分    | 24.586875 月分      | 勤続20年                              | 19.6695 月分 | 24.586875 月分 |
| 勤続25年                    | 28.0395 月分    | 33.27075 月分       | 勤続25年                              | 28.0395 月分 | 33.27075 月分  |
| 勤続35年                    | 39.7575 月分    | 47.70900 月分       | 勤続35年                              | 39.7575 月分 | 47.70900 月分  |
| 最高限度                     | 47.7090 月分    | 47.70900 月分       | 最高限度                               | 47.7090 月分 | 47.70900 月分  |
| 調整率                      | 83.7 / 100    |                   | 調整率                                | 83.7 / 100 |              |
| その他の加算措置<br>（退職時特別昇給） なし |               |                   | その他の加算措置<br>定年前早期退職特例措置（割増率2～4.5%） |            |              |
| 1人当たり平均支給額               | 自己都合 3,567 千円 | 応募認定・定年 23,420 千円 |                                    |            |              |

（注）1 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和6年度に退職した職員に支給された平均額である。

2 「応募認定・定年」のうち、「定年」には、定年退職及び定年引上げ前の定年年齢に達した日以後その者の非違によることなく退職した場合を含む。

(3) 地域手当（令和7年4月1日現在） （支給なし）

(4) 特殊勤務手当（令和7年4月1日現在） （支給なし）

(5) 時間外勤務手当

|                        |           |
|------------------------|-----------|
| 支給実績（令和6年度決算）          | 50,368 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（令和6年度決算） | 267 千円    |
| 支給実績（令和5年度決算）          | 50,696 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（令和5年度決算） | 265 千円    |

（注）職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（令和6年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) 寒冷地手当（令和7年4月1日現在） （支給なし）

## (7) その他の手当（令和7年4月1日現在）

| 手当名    | 内容及び支給単価  | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績<br>(令和6年度決算) | 支給職員1人当たり<br>平均支給年額<br>(令和6年度決算) |
|--------|---|----------|------------|-------------------|----------------------------------|
| 扶養手当   | <ul style="list-style-type: none"> <li>配偶者：3,000円</li> <li>子：11,500円</li> <li>父母等：6,500円</li> </ul> 15歳に達する日後の最初の4月1日～22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子がいる場合は5,000円を加算  | 同じ       |            | 21,529 千円         | 244,648 円                        |
| 住居手当   | <ul style="list-style-type: none"> <li>持家：支給なし</li> <li>借家：16,000円以上の家賃を支払っている場合、28,000円を限度に支給</li> </ul>   | 同じ       |            | 11,312 千円         | 269,333 円                        |
| 通勤手当   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車等の使用距離が片道2キロメートル以上5キロメートル未満である職員 2,000円</li> <li>5キロメートル以上10キロメートル未満である職員 4,200円</li> <li>10キロメートル以上15キロメートル未満である職員 7,100円</li> <li>15キロメートル以上20キロメートル未満である職員 10,000円</li> <li>20キロメートル以上25キロメートル未満である職員 12,900円</li> <li>25キロメートル以上30キロメートル未満である職員 15,800円</li> <li>30キロメートル以上35キロメートル未満である職員 18,700円</li> <li>35キロメートル以上40キロメートル未満である職員 21,600円</li> <li>40キロメートル以上45キロメートル未満である職員 24,400円</li> <li>45キロメートル以上50キロメートル未満である職員 26,200円</li> <li>50キロメートル以上55キロメートル未満である職員 28,000円</li> <li>55キロメートル以上60キロメートル未満である職員 29,800円</li> <li>60キロメートル以上である職員 31,600円</li> <li>交通機関利用者 定期券等の金額 最高限度額 150,000円</li> </ul> | 同じ       |            | 6,881 千円          | 40,958 円                         |
| 管理職手当  | <ul style="list-style-type: none"> <li>管理又は監督の地位にある職員のうちその職務の特殊性に基づき定められた職にある者に役職に応じ定額(44,000円～68,000円)を支給</li> </ul>   | 同じ       |            | 21,459 千円         | 692,226 円                        |
| 休日勤務手当 | <ul style="list-style-type: none"> <li>祝日法による休日等及び年末年始の休日等に勤務した場合、勤務時間1時間当たり給与額の100分の125から100分の150までの範囲内で支給</li> </ul>  | 同じ       |            | 2,592 千円          | — 円                              |
| 夜間勤務手当 | <ul style="list-style-type: none"> <li>正規の勤務時間として午後10時から翌日午前5時までの間に勤務した場合、勤務時間1時間につき勤務1時間当たりの給与額の100分の25を支給</li> </ul>  | 同じ       |            | — 千円              | — 円                              |
| 宿日直手当  | <ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎の日直勤務1回につき4,400円</li> </ul>  | 同じ       |            | 1,074 千円          | 6,440 円                          |

## 5 特別職の報酬等の状況（令和7年4月1日現在）

| 区 分              |       | 給 料 月 額 等      |                     |           |
|------------------|-------|----------------|---------------------|-----------|
| 給<br>料<br>報<br>酬 | 市 長   | 764,000 円      | (参考) 類似団体に於ける最高/最低額 |           |
|                  |       | ( - 円 )        | 980,000 円 /         | 525,700 円 |
|                  | 副 市 長 | 597,000 円      |                     |           |
|                  |       | ( - 円 )        | 794,000 円 /         | 495,700 円 |
|                  | 議 長   | 330,000 円      |                     |           |
|                  |       | ( - 円 )        | 530,000 円 /         | 327,000 円 |
| 報<br>酬           | 副 議 長 | 300,000 円      |                     |           |
|                  |       | ( - 円 )        | 470,000 円 /         | 279,000 円 |
|                  | 議 員   | 290,000 円      |                     |           |
|                  |       | ( - 円 )        | 450,000 円 /         | 259,000 円 |
| 期<br>末<br>手<br>当 | 市 長   | (令和6年度支給割合)    |                     |           |
|                  | 副 市 長 | 4.55 月分        |                     |           |
|                  | 議 長   | (令和6年度支給割合)    |                     |           |
|                  | 副 議 長 | 3.45 月分        |                     |           |
| 退<br>職<br>手<br>当 |       | (算定方式)         | (1期の手当額)            | (支給時期)    |
|                  | 市 長   | 給料月額×在職月数×0.42 | 1,540 万円            | 任期満了毎     |
|                  | 副 市 長 | 給料月額×在職月数×0.25 | 716 万円              | 任期満了毎     |
|                  | 備 考   |                |                     |           |

- (注) 1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額である。  
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

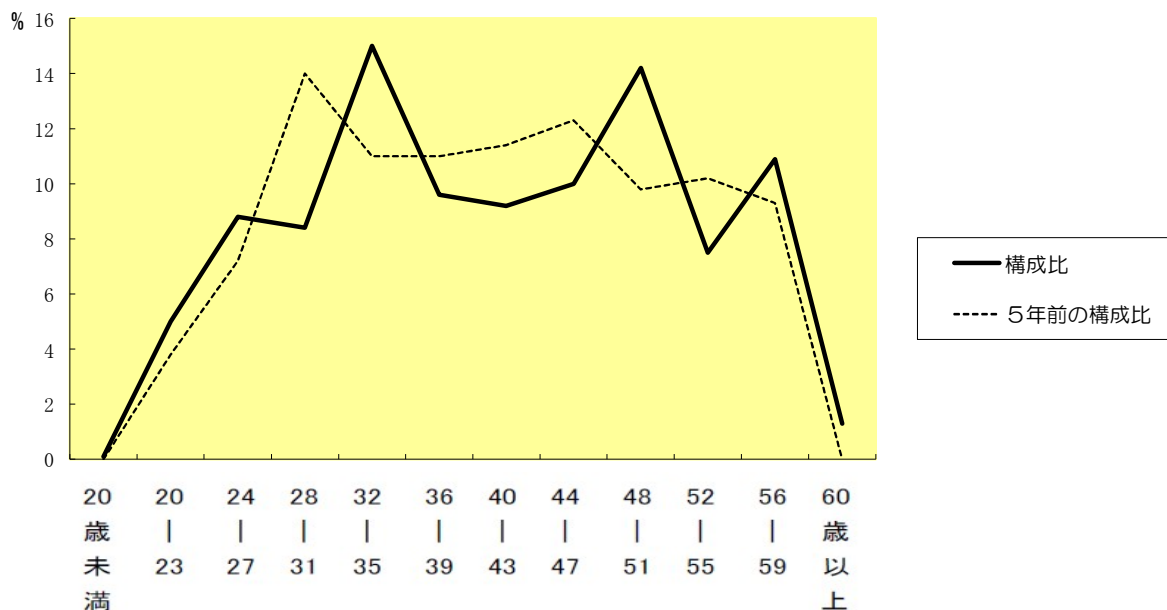
## 6 職員数の状況

### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由（令和7年4月1日現在）

| 部 門                        | 区 分                        | 職 員 数   |         | 対前年<br>増減数 | 主 な 増 減 理 由  |  |
|----------------------------|----------------------------|---------|---------|------------|--|--|
|                            |                            | 令和6年    | 令和7年    |            |  |  |
| 普<br>通<br>会<br>計<br>部<br>門 | 一<br>般<br>行<br>政<br>部<br>門 | 議会      | 3       | 3          | 0  |  |
|                            |                            | 総務・企画   | 69      | 70         | 1  | 配置職員数の見直しによる増  |
|                            |                            | 税務      | 11      | 12         | 1  |  |
|                            |                            | 労働      | 0       | 0          | 0  |  |
|                            |                            | 農林水産    | 8       | 8          | 0  |  |
|                            |                            | 商工      | 3       | 3          | 0  |  |
|                            |                            | 土木      | 13      | 12         | △1   | 配置職員数の見直しによる減  |
|                            |                            | 民生      | 68      | 71         | 3  | 機構改革に伴う所掌事務の見直しによる増                                  |
|                            | 衛生                         | 14      | 13      | △1         | 配置職員数の見直しによる減  |  |
|                            |                            | 小 計     | 189     | 192        | 3  | (参考) 人口1万当たり職員数 62.75 人<br>類似団体の人口1万当たりの職員数 70.52 人) |
| 特<br>別<br>部<br>門<br>行<br>政 | 教育                         | 24      | 25      | 1          | 配置職員数の見直しによる増  |  |
|                            | 小 計                        | 24      | 25      | 1          |  |  |
|                            | 普通会計計                      | 213     | 217     | 4          | (参考) 人口1万当たり職員数 70.92 人<br>類似団体の人口1万当たりの職員数 90.75 人) |  |
| 公<br>営<br>企<br>業<br>等      | 水道                         | 5       | 5       | 0          |  |  |
|                            | 下水道                        | 5       | 5       | 0          |  |  |
|                            | その他                        | 16      | 13      | △3         | 配置職員数の見直しによる減  |  |
|                            | 小 計                        | 26      | 23      | △3         |  |  |
| 合 計                        |                            | 239     | 240     | 1          | (参考) 人口1万当たり職員数 78.11 人                              |  |
|                            |                            | [ 264 ] | [ 264 ] | [ 0 ]      |  |  |

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。  
 2 合計の括弧内の数字は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（令和7年4月1日現在）



| 区分  | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 計    |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 職員数 | 1人    | 12人     | 21人     | 20人     | 36人     | 23人     | 22人     | 24人     | 34人     | 18人     | 26人     | 3人    | 240人 |

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

| 部門別     | 年度 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 | 過去5年間の増減数(率) |
|---------|----|------|------|------|------|------|------|--------------|
| 一般行政    |    | 184  | 184  | 184  | 185  | 189  | 192  | 8 (0.5%)     |
| 教育      |    | 23   | 24   | 24   | 25   | 24   | 25   | 2 (9.1%)     |
| 消防      |    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0 (0%)       |
| 普通会計    |    | 207  | 208  | 208  | 210  | 213  | 217  | 10 (1.4%)    |
| 公営企業等会計 |    | 29   | 30   | 30   | 28   | 26   | 23   | △6 (△7.1%)   |
| 総合計     |    | 236  | 238  | 238  | 238  | 239  | 240  | 4            |

- (注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。  
 2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

## 7 公営企業職員の状況

### 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

##### ア 決算

| 区分    | 総費用<br>(A) | 純損益<br>又は<br>実質収支 | 職員給与費<br>(B) | 総費用に占める<br>職員給与費比率<br>(B/A) | (参考)<br>令和5年度の総費用に占<br>める職員給与費比率 |
|-------|------------|-------------------|--------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 令和6年度 | 236,606 千円 | 0 千円              | 24,978 千円    | 10.56 %                     | 10.87 %                          |

| 区分    | 職員数<br>(A) | 給 与 費     |          |          |           | 一人当たり<br>給与費 (B/A) | (参考) 市町村(政令指定都市を<br>除く)平均一人当たり給与費 |
|-------|------------|-----------|----------|----------|-----------|--------------------|-----------------------------------|
|       |            | 給 料       | 職員手当     | 期末・勤勉手当  | 計 (B)     |                    |                                   |
| 令和6年度 | 3 人        | 12,005 千円 | 3,604 千円 | 2,743 千円 | 18,352 千円 | 6,117 千円           | 6,316 千円                          |

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。  
 2 職員数については、令和6年3月31日現在の人数である。  
 3 職員数及び給与費については、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員を含み、会計年度任用職員を含まない。

##### イ 特記事項 (なし)

#### ② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況（令和7年4月1日現在）

| 区分       | 平均年齢   | 基本給       | 平均月収額     |
|----------|--------|-----------|-----------|
| 中央市公営企業職 | 40.3 歳 | 333,472 円 | 509,777 円 |
| 団体平均     | 45.8 歳 | 345,838 円 | 524,813 円 |

- (注) 1 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。  
 2 平均年齢の団体平均は、会計年度任用職員を含んで算出している。

#### ③ 職員の手当の状況

##### ア 期末手当・勤勉手当

| 中央市公営企業職   |  | 中央市一般行政職   |  |
|--|--|--|--|
| 1人当たり平均支給額（令和6年度）<br>1,562 千円  |  | 1人当たり平均支給額（令和6年度）<br>1,498 千円  |  |
| (令和6年度支給割合)<br>期末手当 2.50 月分<br>勤勉手当 2.10 月分<br>( 1.40 ) 月分 ( 1.00 ) 月分 |  | (令和6年度支給割合)<br>期末手当 2.50 月分<br>勤勉手当 2.10 月分<br>( 1.40 ) 月分 ( 1.00 ) 月分 |  |
| (加算措置の状況)<br>職制上の段階、職務の級等による加算措置<br>・役職加算 5～15%                        |  | (加算措置の状況)<br>職制上の段階、職務の級等による加算措置<br>・役職加算 5～15%                        |  |

(注) 括弧内は、暫定再任用職員に係る支給割合である。

##### イ 退職手当（令和7年4月1日現在）

| 中央市公営企業職      |             |              | 中央市一般行政職      |             |              |
|---------------|-------------|--------------|---------------|-------------|--------------|
| (支給率)         | 自己都合        | 応募認定・定年      | (支給率)         | 自己都合        | 応募認定・定年      |
| 勤続20年         | 19.6695 月分  | 24.586875 月分 | 勤続20年         | 19.6695 月分  | 24.586875 月分 |
| 勤続25年         | 28.0395 月分  | 33.27075 月分  | 勤続25年         | 28.0395 月分  | 33.27075 月分  |
| 勤続35年         | 39.7575 月分  | 47.70900 月分  | 勤続35年         | 39.7575 月分  | 47.70900 月分  |
| 最高限度額         | 47.70900 月分 | 47.70900 月分  | 最高限度額         | 47.70900 月分 | 47.70900 月分  |
| その他の加算措置      |             |              | その他の加算措置      |             |              |
| (退職時特別昇給 なし ) |             |              | (退職時特別昇給 なし ) |             |              |
| 1人当たり平均支給額    | 0 千円        | 0 千円         | 1人当たり平均支給額    | 3,567 千円    | 23,420 千円    |

- (注) 1 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和6年度に退職した職員に支給された平均額である。  
 2 「応募認定・定年」のうち、「定年」には、定年退職及び定年引上げ前の定年年齢に達した日以後その者の非違によることなく退職した場合を含む。

ウ 地域手当 (支給なし)

エ 特殊勤務手当 (支給なし)

オ 時間外勤務手当

|                         |        |
|-------------------------|--------|
| 支給実績 (令和6年度決算)          | 847 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額 (令和6年度決算) | 423 千円 |
| 支給実績 (令和5年度決算)          | 822 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額 (令和5年度決算) | 411 千円 |

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(令和5年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当 (令和7年4月1日現在)

| 手当名    | 内容及び支給単価  | 一般行政職の制度との異同 | 一般行政職の制度と異なる内容 | 支給実績 (令和6年度決算) | 支給職員1人当たり平均支給年額 (令和6年度決算) |
|--------|---|--------------|----------------|----------------|---------------------------|
| 扶養手当   | <ul style="list-style-type: none"> <li>配偶者：3,000円</li> <li>子：11,500円</li> <li>父母等：6,500円</li> </ul> 15歳に達する日後の最初の4月1日～22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子がいる場合は5,000円を加算  | 同じ           |                | 438 千円         | 219,000 円                 |
| 住居手当   | <ul style="list-style-type: none"> <li>持家：支給なし</li> <li>借家：16,000円以上の家賃を支払っている場合、28,000円を限度に支給</li> </ul>   | 同じ           |                | 225 千円         | 225,000 円                 |
| 通勤手当   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車等の使用距離が片道2キロメートル以上5キロメートル未満である職員 2,000円</li> <li>5キロメートル以上10キロメートル未満である職員 4,200円</li> <li>10キロメートル以上15キロメートル未満である職員 7,100円</li> <li>15キロメートル以上20キロメートル未満である職員 10,000円</li> <li>20キロメートル以上25キロメートル未満である職員 12,900円</li> <li>25キロメートル以上30キロメートル未満である職員 15,800円</li> <li>30キロメートル以上35キロメートル未満である職員 18,700円</li> <li>35キロメートル以上40キロメートル未満である職員 21,600円</li> <li>40キロメートル以上45キロメートル未満である職員 24,400円</li> <li>45キロメートル以上50キロメートル未満である職員 26,200円</li> <li>50キロメートル以上55キロメートル未満である職員 28,000円</li> <li>55キロメートル以上60キロメートル未満である職員 29,800円</li> <li>60キロメートル以上である職員 31,600円</li> <li>交通機関利用者 定期券等の金額 最高限度額 150,000円</li> </ul> | 同じ           |                | 48 千円          | 24,000 円                  |
| 管理職手当  | <ul style="list-style-type: none"> <li>管理又は監督の地位にある職員のうちその職務の特殊性に基づき定められた職にある者に役職に応じ定額(44,000円～68,000円)を支給</li> </ul>   | 同じ           |                | 696 千円         | 696,000 円                 |
| 休日勤務手当 | <ul style="list-style-type: none"> <li>祝日法による休日等及び年末年始の休日等に勤務した場合、勤務時間1時間当たり給与額の100分の125から100分の150までの範囲内で支給</li> </ul>  | 同じ           |                | 0 千円           | 0 円                       |
| 夜間勤務手当 | <ul style="list-style-type: none"> <li>正規の勤務時間として午後10時から翌日午前5時までの間に勤務した場合、勤務時間1時間につき勤務1時間当たりの給与額の100分の25を支給</li> </ul>  | 同じ           |                | 0 千円           | 0 円                       |
| 宿直手当   | <ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎の日直勤務1回につき4,400円</li> </ul>  | 同じ           |                | 13 千円          | 6,600 円                   |